



未来に敏感、人が中心

商工会やまなし

SHOKOKAI-YAMANASHI

第252号
 平成23年3月

 年6回1・3・5・7・9・11月
 の末日発行
 定価120円
 会員の購読料は会費に
 含んでおります。

 ■発行所／山梨県商工会連合会 ■発行人／会長 竹井 清 八 ■住所／〒400-0035 甲府市飯田2-2-1 中小企業会館3F
 ■TEL／(055)235-2115 ■URL／<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>


各商工会の活動の様子。

商工会活動には、明るい笑い顔がある。経営を思う真剣な顔がある。地域を支えるたくましい顔がある。

CONTENTS

- 2～3…平成22年県連臨時総会開催
 青年部関東ブロック大会 山梨で開催
- 4～5…商圈実態調査まとまる
- 6～7…商工会人事 ひとのうごき
 しっ得なっ得
 お知らせ
- 8………商工会なう（甲州市商工会）

次の時代へ がんばろう商工会

平成22年度は、商工会法施行50周年の節目の年として、いくつもの記念事業を実施してきました。50年の歴史を振り返る中、そこには会員事業所のたくましい努力の姿と、それを常に支えてきた役職員の姿がありました。

地域商工業を巡る情勢は、決して安寧とした状況ではありませんが、故郷に生き、故郷を支え、故郷を守り伝える商工業者は地域になくしてはならない存在です。

次の時代へ、がんばろう商工会！

平成23年度 重点事業

「商工会は行きます 聞きます 提案します」

全国統一会員満足向上運動キャッチフレーズ

- I. 次なる50年に向けた商工会の組織・事業改革の推進
- II. 中小・小規模企業の経営力向上に向けた支援の強化
- III. 地域の活力再生を目指した活動の強化
- IV. 共済事業による会員企業の経営サポートの実現

次なる五十年に向けて

平成二十三年度事業決定

商工会連合会の臨時総会が開催され、平成二十三年度の事業計画等を決定した。平成二十二年度の商工会法施行五十周年を契機に、創立の原点に立ち返り、地域の事業者や住民にとって、真に頼りになる商工会となるべく、新しい第一歩を踏み出す年として新年度の事業を展開する。

平成二十二年度臨時総会が三月三十一日に開催された。中小・小規模企業の経営環境悪化、県・市町村財政の逼迫による地域経済の衰退や、会員数の減少、組織率の低下による商工会組織基盤の弱体化を直面する深刻な課題と捉え、これら課題の解決に向け、平成二

十三年度は以下の四項目を重点事業として取り組んでいくことを決定した。

1 次なる五十年に向けた商工会の組織・事業改革の推進

平成二十二年度は、法制化五十周年を記念した全国大会・県大会の開催を契機に、「すべては会員のために」の活動理念を再確認した。地域における商工会の存在意義が高まる折、新年度も引き続き「商工会は行きます 聞きます 提案します」をキャッチフレーズに、会員に満足してもらえる支援・サービスの強化を一層推進するとともに、その体制を整え、会員に支持される商工会であり続けられるよう、組織・事業改革の推進を図る。

- 会員満足向上運動の更なる推進
- 職員の資質向上対策の推進
- 経営支援体制強化に向けた組織

2 中小・小規模企業の経営力向上に向けた支援の強化

新年度から経済産業局が実施する「中小企業支援ネットワーク強化事業」を積極的に活用し、事業者の経営力向上を目指すための提案・実行支援を行うことにより、「元氣な中小・小規模事業者」を創出する。

- 会員企業の支援プラン作成・実行支援の強化

- 新たな取引創出に向けた販路開拓支援

- ネットde記帳システムの活用による経営改善の推進と自計化普及に向けた取組支援

3 地域の活力再生を目指した活動の強化

農商工連携、地域資源の活用による新事業展開、新たな産業の創出を図ることにより地域の活力再生を目指すとともに、各地域の特色を生かした産業振興の推進支援を積極的に行っていく。また、次代を担う青年部や、企業を支える女性部の組織の活性化、人材育成を推進しながら、商工会地域の活性化に繋げる。

ビジネスシーンに **e** ヨプラス⁺

肉体派SEが
あなたの会社をお助けします。



ソフトウェア開発/販売/ネットワーク/教育

株式会社 **Ysk e-com**

www.ysk.co.jp

本社 〒400-8560 山梨県甲府市湯田1-13-2 tel.055-236-1111 fax.055-236-1166
 Do-KASUGA 〒400-0032 山梨県甲府市中央1-20-18 tel.055-236-1111 fax.055-208-1122
 支店 〒105-0021 東京都港区東新橋2-9-2 7階 tel.03-5401-1022 fax.03-5401-1060

○異種産業の連携による地域活性化支援

○業種ごとに抱える課題解決に向けた支援

○若手後継者等育成支援

4 共済事業による会員企業の経営サポートの実現

共済事業を「経営をサポートする制度」としてあらためて認識し、新年度は研修会などにより組織全体に新しいサービスや共済制度本来のメリット等の普及を図る。

特に、「団体契約」として組織

のスケールメリットを活かした有利な条件での保障等を可能としていることを加入推進のポイントとして積極的にPRするとともに、このスケールメリットを堅持していくため、各商工会それぞれが有する責任を果たすべく、各商工会の推進活動の支援を行っていく。

○共済メリットの再確認による提案力の強化

○団体共済メリット基準の堅持と組織的推進体制の醸成

○新チャレンジ商工会制度を中心とした加入推進

平成二十二年度 関東ブロック商工会青年部連絡協議会 後期代表者会議・交流研修会が山梨県で開催

平成二十三年二月十六日・十七日に、全青連スローガン「自立と自律」～真の経営者を目指して～のもと、関東ブロックの十一都県青連の青年部員約二〇〇名が一堂に会し、平成二十二年度関東ブロック商工会青年部連絡協議会後期代表者会議・交流研修会が、笛吹市石和町「ホテル石庭」において、丹澤博県商工労働部長、宮本周司全青連会長、松橋勝美県連副会長

の臨席の中、盛大に開催された。

本県青年部からは部員一〇〇名が参加。当日は、早朝から地元、峡東ブロックの青年部員を中心に、予め選任された実行委員や役割担当者など多くの青年部員が、駐車場案内、受付、会場設営と、昨年来から準備を重ねた計画通りスムーズな運営にあたった。

研修会に入り、青木茂樹駒澤大学教授の基調講演の後、行われた



テーブルディスカッションでは、十一のテーブルに分かれ、「五年後の自社の在り方」をテーマに、企業の経営革新について、県域を越えて、熱心に議論が重ねられた。

また、翌日は、関東ブロック各都県青連の会長による代表者会議も開催され、本年度最後の一大イベントを締めくくった。

団体割引率 15%!
自動車共済は当面の間
年代別掛金を導入しません!!
安い掛金で大きな安心

自動車共済

24時間事故受付で、緊急連絡にそなえ万全の事故処理体制をとっています。
万一の事故のときは、顧問弁護士や専門職員が示談交渉にあたり、解決します。

関東自動車共済協同組合 山梨県支部

〒400-0035 甲府市飯田4-4-2 自動車共済ビル 電話055(237)8331(代)

『大型店での買物依存度 さらに高まる』

～平成22年度商圈実態調査まとまる～

商工会連合会等では、昭和53年より3年に一度、県下全域を対象として、「商圈実態（お買い物）調査」を実施しており、今回で12回目になります。本調査は、衣料品、食料品などの品目毎に買い物場所や利用店舗などを調査し、消費者購買行動の実態の把握や、今後の地域商業の振興やまちづくりの推進につなげるための基礎資料とするために実施しております。

今号では、その調査の一部を紹介しています。なお、本調査は報告書にまとめており、県庁西別館の県民情報センターで閲覧できる他、連合会HPでもご覧頂く事ができます。

(<http://www.shokokai-yamanashi.or.jp/>)

県内消費者の買物場所とその推移

大型店出店地区の増加が著しい

県内消費者の買物場所を細かく分析してみた結果、旧甲府市が昨年同様第1位で、23.0%（うち中心市街地2.3%、甲府バイパス8.5%）であり、平成10年の調査から連続で減少してきた前回調査（平成19年）より、1.2%増加している。第2位から第10位までは、次のとおりである。

第2位 富士吉田市 (10.2%)〈前回2位〉	第7位 旧塩山市 (3.8%)〈前回7位〉
第3位 昭和町 (8.6%)〈前回3位〉	第8位 都留市 (3.7%)〈前回6位〉
第4位 旧田富町 (8.3%)〈前回4位〉	第9位 旧双葉町 (3.5%)〈前回17位〉
第5位 旧石和町 (6.1%)〈前回5位〉	第10位 旧櫛形町・旧竜王町 (3.3%)
第6位 韮崎市 (3.9%)〈前回9位〉	〈前回7位〉・〈前回10位〉

【増加している主な地区】

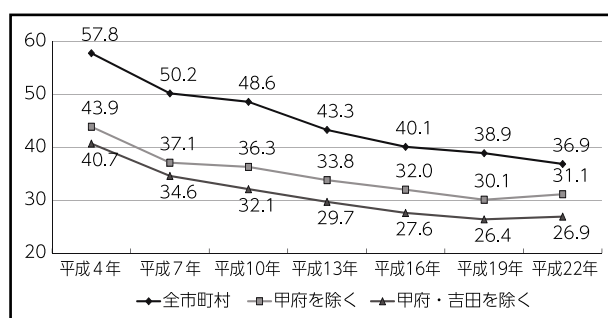
今回最大の増加は、旧双葉町の+2.6ポイントである。続いて、旧玉穂町の+2.0ポイント、旧甲府市の+1.2ポイント、韮崎市の+0.5ポイントとなっている。また、前回・今回ともに増加しているのは、旧竜王町・旧双葉町・旧塩山市になる。前回増加（+1.5ポイント）した旧石和町は、-0.1ポイントとなっている。

地元購買率の推移

全市町村における地元購買率の低下が更に進む

全市町村における全品目地元購買率の推移を示したのが、右のグラフである。

全市町村の地元購買率は、前回調査38.9%から2.0ポイント減少して、36.9%となっている。旧甲府市を除いた場合31.1%（+1.0ポイント）、旧甲府市・富士吉田市を除いた場合26.9%（+0.5ポイント）となっている。

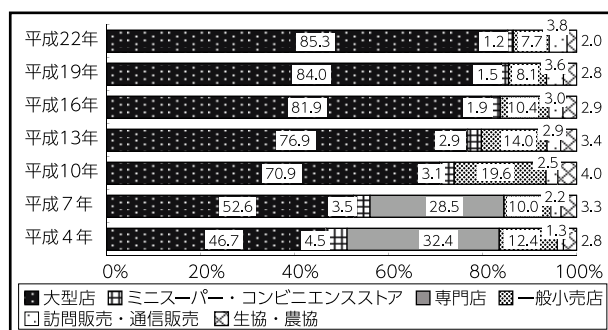


利用店舗の状況 —全品目の利用店舗の推移—

大型店舗の利用がますます進む

全品目の利用店舗の推移を示したものが、右のグラフである。

今回の調査結果をみると、大型店85.3%、一般小売店7.7%、訪問販売・通信販売3.8%、生協・農協2.0%、ミニスーパー・コンビニエンスストア1.2%となっており、大型店での買物が1.3ポイント、訪問販売・通信販売が0.2ポイント伸びているのに対して、一般小売店が0.4ポイント、ミニスーパー・コンビニエンスストアで0.3ポイント、生協・農協では0.8ポイント、それぞれ減少している。

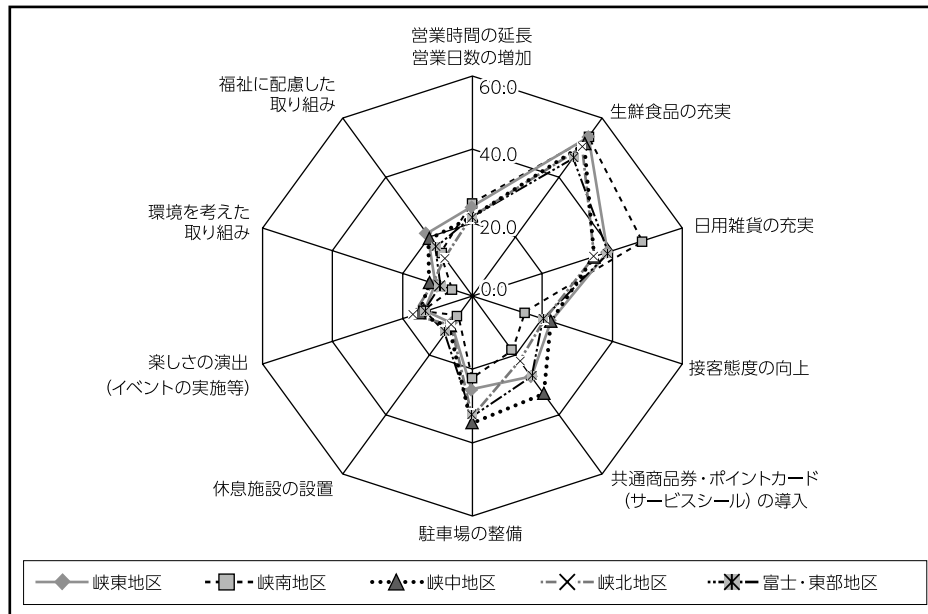


地元の商店・商店街に関する要望

生鮮食品及び日用雑貨など商品の充実を望む意見が多い

地元の商店・商店街に関する要望の内容をまとめたものが、下記のレーダーチャートである。

県全体では、生鮮食品の充実を望む意見が最も高く50.8%（前回比-0.4ポイント）、ついで日用雑貨の充実37.3%（+1.0ポイント）、駐車場の整備31.7%（-2.8ポイント）、共通商品券・ポイントカードの導入28.5%（+4.5ポイント）などの順になっている。



昭和町商工会の行った「一店逸品フェア」



大型店との「共存共栄」の方法として注目されているのが、昭和町商工会の取り組み。管内の大型店「イトーヨーカドー甲府昭和店」のフロアを貸切り「一店逸品フェア」を開催、会員事業所十一店が自慢の逸品を販売した。大型店の集客力を活用し、地元店の魅力ある商品を紹介するという発想だ。大型店と協力し、地域活性化を図るという新しい連携の形に期待が集まっている。

「共存共栄」というキーワードからもう一事例。存続の危機に直面した個人

地域商業者にとって厳しい経営環境が続く中、商工会では様々な商業活性化事業に取り組んでいる。最近の話題をまとめてみた。

個性的な取り組みが 続々登場 商工会の商業活性化支援

商店を韮崎市の「スーパーやまと」が支援するという取り組みも話題。県連の応援センターへの相談がきっかけで両者のマッチングが成立。「スーパーやまと」から商品提供や店舗改装、経営ノウハウの助言を受けた個人商店は、先日リニューアルオープンにこぎつけた。

大人気ぶりで話題となっているのは、身延町商工会の「さくら商品券」。商工会はこの商品券を家電エコポイントの交換商品として登録したところ交換金額が一千万円を越す人気となった。交換者は町内在住者が九割。商工会では、「町内で幅広く使用できるという便利さもあるが、地元の方が地域活性化を思い交換してくれたのでないか」と、地元からの「応援歌」に笑顔をみせている。

お客様が足を運んでくれる繁盛店を目指し、店づくりを根本から見直すという研究が続いている韮崎市商工会の会員グループの活動も先日報告会を開催、南アルプス市商工会の始めた消防団員への割引サービスも地域連携のスタイルとして話題だ。この他、一店逸品運動や、農工商連携による新商品や特産品の開発、インターネットやイベントによる販路拡大など、地域の課題に合わせた個性的な商業活性化の取り組みが各地の商工会で展開しています。

商工会人事 人のうごき (順不同)

【採用】 (四月一日付け)

上野原市(事務局長)
倉田 雅文甲州市(事務局長)
萩原 哲夫中央市(事務局長)
田中 俊身延町(事務局長)
赤池 義明南アルプス市(補助員)
酒井 一男笛吹市(記帳専任職員)
橋田 朋美河口湖(記帳専任職員)
小林 幸恵【人事交流】 (四月一日付け)
(経営指導員)

都留市

近藤 利明 (西桂町)

都留市

坂倉 稔 (昭和町)

甲斐市

長田 正和 (富士川町)

甲州市

山田 朝光 (商工会連合会)

中央市

斎藤 弘文 (北杜市)

市川三郷町

小笠原幸夫 (甲州市)

富士川町

柳本 光次 (南アルプス市)

昭和町

雨宮 正和 (市川三郷町)

西桂町

野沢 洋文 (中央市)

商工会連合会

権守 昇 (都留市)

商工会連合会

小野秀二郎 (甲斐市)

(補助員)

斐崎市

野呂瀬千草 (南アルプス市)

甲州市

川口 富代 (斐崎市)

北杜市

(記帳専任職員)

甲州市

内田 明子 (河口湖)

昭和町

秋山 奈緒 (北杜市)

岡本 京子 (笛吹市)

【退職】 (三月三十一日付け)

上野原市(事務局長)

近田 良雄

甲州市(事務局長)

池田 始

中央市(事務局長)

名取 久

身延町(事務局長)

望月 悟良

甲斐市(経営指導員)

田中 俊

甲州市(経営指導員)

橋田 義直

商工会連合会(商工会指導員)

長田 孝夫

笛吹市(補助員)

石原まさ江

甲府南(補助員)

萩原恵美子

甲州市(記帳専任職員)

上矢 なぎさ

各商工会に天皇陛下のおことば



商工会法施行50周年記念式典でいただいた、天皇陛下のおことばを額装し、各商工会に送付しました。商工会会員へのあたたい励ましのおことばです。皆様ぜひ一度ご覧ください。

「東北地方太平洋沖地震に係る特別相談窓口」設置のお知らせ

この度発生しました「東北地方太平洋沖地震」により被災された皆様には、心よりお見舞い申し上げます。

連合会並びに商工会では「東北地方太平洋沖地震に係る特別相談窓口」を設置し、地震による災害の影響で、直接的又は間接的に被害を受けられた皆様のご相談に応じております。

中小企業の皆さんの資金繰り支援策などの情報は以下のサイトからもご覧になれます。

- 山梨県HP <http://www.pref.yamanashi.jp/kinkyu/110311index.html>
- 中小企業庁HP <http://www.chusho.meti.go.jp/earthquake2011/index.html>
- 日本政策金融公庫HP <http://www.jfc.go.jp/>
- 山梨県信用保証協会HP <http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>

応援します、あなたの企業 山梨県信用保証協会

「東北地方太平洋沖地震」に伴う資金対応について

震災により直接的・間接的な被害を受けた中小企業の皆様の資金繰りを、信用保証にて支援いたします。

直接的な被害には【災害関係保証】(注1)を、間接的な被害には【一般保証】もしくは【経営安定関連(セーフティネット)保証】(注2)にて対応致します。

(注1) 市町村発行の「罹災証明書」の添付をお願いします。

(注2) 市町村発行の「認定書」の添付をお願いします。

(*) 一定の審査により、ご希望に添えない場合もあります。

他の保証制度や保証協会について詳しくはホームページをご覧ください。

本 店 甲府市飯田 2-2-1 (山梨県中小企業会館)
TEL 055-235-9700 FAX 055-232-0160
URL: <http://www.yiso.or.jp/~shinpo/>
E-mail: shinpo-yamanashi@rondo.ocn.ne.jp

富士吉田店 富士吉田市下吉田 1832
TEL 0555-22-0992 FAX 0555-22-0921



おかげさまでジブラルタ生命は、プルデンシャル・ファイナンシャルの一員として営業を開始して、この春10周年を迎えることができました。これも多くの皆さまに支えられての賜物と、心より感謝申し上げます。



“As safe as the Rock”

～ジブラルタ・ロックのように安心～

ジブラルタ海峡に位置する長さ4.8km、高さ400mにもおよぶ巨大な岩山“ジブラルタ・ロック”が社名の由来です。親会社プルデンシャル・ファイナンシャルのシンボルである“ジブラルタ・ロック”は、時を経ても変わることのない強さ、安定性、専門性、そして革新性を象徴しています。

「商工貯蓄共済」

「商工貯蓄共済医療保障特約型」

- 商工貯蓄共済は、貯蓄・融資・保険がセットされた商工会の制度です。そのうち生命保険部分をジブラルタ生命が引き受けています。
- 商工貯蓄共済医療保障特約型は、ジブラルタ生命が新医療保険として引き受けています。

「商工貯蓄共済付加保障制度」

- 商工貯蓄共済付加保障制度は、ジブラルタ生命と山梨県商工会連合会が団体扱契約を締結し、ジブラルタ生命のライフプラン・アドバイザーが商工会会員の皆さまのニーズに応じた保障をお届けしています。

コールセンター ▶▶▶

ミナ ジブロック
0120-37-2269

※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

ホームページ ▶▶▶

<http://www.gib-life.co.jp/>

〒100-8953

東京都千代田区永田町2-13-10



Gibraltar
ジブラルタ生命

協会けんぽより
お知らせ

平成23年3月より

協会けんぽの保険料率が変わりました。

協会けんぽの健康保険料率については、厳しい経済状況の中で大幅に保険料収入が落ち込む一方、医療費の支出が増え、協会けんぽの財政は非常に厳しい状況となっており、本年3月分の保険料(4月納付分)から山梨支部の健康保険料率は引き上げざるを得なくなりました。

加入者の皆様の医療と健康と生活を支えるため、何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

山梨支部の健康保険料率

●40歳未満の方・65歳以上の方
現行 平成23年3月分～
9.31% ⇒ 9.46%

●40～64歳までの方
現行 平成23年3月分～
10.81% ⇒ 10.97%

※40～64歳までの方は健康保険料率9.46%に介護保険料率1.51%が加わります。

問い合わせ先 全国健康保険協会(協会けんぽ)山梨支部 ☎055-220-7750

SHITTOKU-NATTOKU
しつ得なつ得!

お客様の購買行動

応援コーディネーター 鷹野 啓司



お客様は、なぜ商品(サービス)を買って頂けるのでしょうか?

今回は購買行動のコストパフォーマンス(以下C P)について考えて見ましょう。難しい理論抜きで以下の式をご覧ください。

【価値>価格=購買】つまりお客様にとってC Pの高い商品があれば「買う」という行動に出ることになります。実際には、衝動買いなどヒューマンな要素も含まれますが・・・(笑)。

お客さんが考えるC Pは様々です。例えば商品別C Pでは、低価格で手ごろな商品、少し割高だけど健康に良い無添加商品、高額だけど希少価値の高い商品など、販売チャンネル別C Pでは、低価格が魅力の大手家電ショップ、マニアックな商品が並ぶ秋葉原の専門店、定価販売だけどアフターフォローが充実している町の電気屋さん等、お客様によってC Pの指標は違います。

自社の取扱い商品のパフォーマンスを、買ってほしいお客様(ターゲット顧客)の視点でもう一度見直して見ましょう。

パッケージデザインや実演や試食などのプロモーションもC Pアップには効果的です。

安心を明日につなぐ

3つの特色で皆様の企業を
パワフルにバックアップします。

○ **安い掛け金**

○ **簡単な手続き**

○ **迅速な支払い**

中小企業者のための
火災共済

普通火災共済

総合火災共済

休業補償共済

生命傷害共済

山梨県火災共済協同組合

甲府市丸の内一丁目10番5号

山梨県社会福祉会館2階

☎(055)235-7564



団体名はKoshu of Japan (KOJ)
http://www.koshuofjapan.com

国のジャパンブランド育成支援事業として、県内のワイン生産者十四社と甲州市商工会、甲府商工会議所、山梨県ワイン酒造協同組合がタッグを組み、甲州ワインで世界を目指すプロジェクトが展開されている。

組織の取りまとめ役として縁の下の力持ち役を担うのが、日本一のワイン生産地を誇る甲州市商工会だ。

日本のワイン王国が誇る甲州ワインとはいえ国内市場の地位は安泰ではない。本場EU圏のワインとの競合に加え、清酒などの他品種とのシェアの争い、安価な外国産ワインの追い上げも脅威だ。おのずとワイン文化圏への輸出が業界の命題となつて

商工会
なう

No.61

甲州市
商工会

山梨から世界へ挑戦 甲州ワインEU輸出プロジェクト



ワイン情報の発信地である英国ロンドンなど、現地でのプロモーションも数回開催している。そこでの甲州ワインの評判は上々。スッキリとしたさわやかな味が好評価を受けた。各ワインも、この評価に大きな手応えを感じ

いたが、そこには大きな壁がある。「ワイン法」だ。ワインの本場のEU諸国には「ワイン法」があり、輸入ワインを厳格な基準で規制しているのだ。

これに対し県内ワイナリーは永年にわたり世界水準のワインづくりを研究してきた。プロジェクトはこれからワイナリーの努力を結実させ、EU諸国への輸出を実現し、甲州ワインのブランド力を確立、国内外にその市場を拡大していくことにある。

プロジェクトは三年計画。二年目にあたる昨年7月には、二〇〇〇本の輸出を実現。「Koshu」の文字が初めてEU市場に踊った。

ホームページ作成 あなたの商品を！
あなたの会社を！
あなたの店を！
無料 簡単
SHIFTで全国に宣伝しませんか
商工会員なら無料でホームページが持てます

- 商工会がしっかりサポートするから初心者でも安心
- パソコン・携帯から簡単更新
- 買い物かご機能でネット販売
- 簡易予約機能で宿泊予約

お問い合わせ・お申し込みはご加入の商工会まで

世界水準への挑戦は、ワインの醸造方法だけではない。原料となる「ぶどう」づくりから徹底する必要がある。良いワインづくりの裏には、ワイナリーのたゆまぬ努力と情熱があった。これを商工会が様々な形でサポートしている。関係機関との交渉や書類申請手続き、会議の開催やプロモーションの手配など、その内容は多岐に及ぶ。それぞれが専門とすること、に専念することで、大きなプロジェクトが確実に進んでいる。

「地方」から「世界」を目指したプロジェクトはまだまだ始まったばかり。しかし、何年後か、「Koshu」の文字は世界で当たり前のブランドになるのかもしれない。

山梨県商工会連合会共済制度・福祉制度の一環としてお届けする
保険の世界ブランド。アクサがあなたをサポート。

新大型保障プラン

アクサのフィナンシャル・プロテクション

定期保険



普通傷害保険

AXA アクサ生命保険株式会社
redefining standards

AXA アクサ損害保険株式会社
redefining standards

アクサ生命保険株式会社 甲府支社 〒400-0858 甲府市相生2-2-17 甲府商工会議所会館 TEL055-226-5075

世界トップクラスの
保険・金融グループ、
アクサで実現。

http://www.axa.co.jp